

## 第8章 学生支援等

### 8.1 学生相談・助言

#### 【現況】

- ・各学期初めにクラス担任が、クラス毎に学生便覧を使用して、学生生活上の事柄を中心にガイダンスを実施してきました。平成17年度から全学生を対象に2年生～5年生は、第1学期授業開始の3日間をオリエンテーションの期間とし、ガイダンスと校長講話を行っています。また1年生は、穴水研修(人間と自然)において、校長講話、学科長講話と担任ガイダンスを行っています。帰校後、主事ガイダンス、LCガイダンス等を行っています。(資料8-1-1「オリエンテーション日程」)
- ・各科目の最初の授業では、科目担当者から学習上のガイダンスも実施しています。こうしたガイダンスにおいて不明な点や疑問点は、直接担当教員に質問して解決する、クラス担任を通じて解決を図る等の対応が行われています。
- ・女子学生に対しては、女性教員複数名を女子学生指導委員に指定し、就学指導のためのガイダンスと相談に対応しています。
- ・学生に周知する内容は、学務会議で決定したうえで学生係がクラス担任連絡会議や教員会議の中でクラス担任や全教員に説明し共有化が図られ、さらには必要に応じて資料が作成される等、ガイダンスの内容の統一性に留意しています。
- ・各科目が始まる最初の授業では、担当教員が学習支援計画書(シラバス)に基づき、科目概要・目標や授業方法、アドバイス、成績評価基準、質問時間(オフィスアワー)について、学生に説明しています。
- ・平成18年度からは、主として修学上の一般的並びに基礎的な事項について指導できるよう、地域連携センターに教員を常駐させています。(資料8-1-2「地域連携センター」)
- ・学生の修学上の相談は、クラス担任が受けることになっています。一方、部活顧問や科目担当者が相談を受けることもあり、その場合も必ずクラス担任に通知されることになっています。クラス担任は、正副2名の教員が受け持ち、学生の立場に立って助言を行うように努めています。これまでの相談内容として「授業が良く理解できない」や、「資格取得にチャレンジしたい」また「一部の先生や友人とうまくいかない」等があります。先の二つについては、随時質問を受け付ける体制(オフィスアワー)や、補習授業、特別講座等を実施しています。また、教員や友人とのコミュニケーションの問題に関しては「カウンセリングセンター」(資料8-1-3「カウンセリングセンター」)のカウンセラーによるカウンセリングによって対応しています。
- ・学生の自主的学習等の推進には、保護者の理解と協力が必要です。全ての保護者に対して配付している学校だより「専(もはら)」(年2～3回発行)には、本校の教育研究の近況報告と共に、学生の自主的な活動内容を紹介しています。
- ・本校では、保護者及び教職員で組織する「育友会」を設けています。育友会では、保護者に向けた学校見学会を開催しており、その中に、学生の「穴水湾自然学苑教育」を体験してもらうプログラムを行っています。このプログラムでは、学生達が通常行う研修の一端を体験していただき保護者からの直接的な評価を受け、本校教育の理解をいただく努力を行っています。(資料8-1-4「見学会のご案内」)(資料8-1-5「保護者からの評価」)
- ・授業時間外の各教室やコンピュータ演習室、マルチメディア演習室およびラウンジは自由に利用することができます。学生は、試験勉強、レポート作成など学習の場として、また学生間のコミュニケーションの場として有効に活用しています。さらに、金沢工業大学との教育支援に係わる共用施設は、学生の自主的な学習やキャンパス生活の場として効果的に利用されています。(資料8-1-6「共用施設の状況」)
- ・学生に対する学習支援の取り組みの多くは、学園の教育支援機構の各センターの協力を得て実施されています。

各センターの支援に対するニーズは、KTC総合アンケートや各センターが独自に実施するアンケート等により把握されていると認識しています。(資料8-1-7「利用者アンケート」)

- ・校長は毎朝実施している登校指導の中で、積極的に学生に話しかけて学生との対話を重視し、学生のニーズを把握することに努めています。
- ・資格取得や外国留学、補習授業、さらには課外活動等の本校が実施する学習支援活動に関する学生の意見については、KTC総合アンケートや日常的な教職員との意見交換を通じて把握されていると認識しています。(資料8-1-8「授業に関するアンケート」)
- ・資格試験や検定試験講座の受講を容易にするために、自己開発センターを設置しています。専門スタッフが便宜供与に当たると共に、検定のための講習会を開催しています。また、各学科においても、主要資格を指定し、受験のための講習を実施しています。(資料8-1-9「自己開発センター利用案内」)
- ・英語教育と共に留学も本校の特色の一つであると認識し、「国際交流委員会」を設置し、留学に関する基本方針(案)を決定し、校長に具申しています。校長の留学施策にもとづき英語科教員の留学係りが業務を実施しています。本校は、ニュージーランドのオタゴポリテクニクと連携しており、留学生を送り出しています。留学先があるダニーデンには本校の現地指導員2名を常駐させ、学生のホームステイ生活や就学指導に当たらせています。
- ・留学生の学習状況把握や留学先管理者等との連携を容易にするため、留学先との間でテレビ会議システムを運用しています。
- ・資格取得のための特別講座を開講し支援しています。(資料8-1-10「資格試験講座開設状況・受講者数」)また、その他適時に学生の要求に応じて補講も行っております。
- ・資格取得による単位認定についてはその必要性を認識しています。本校では、これまで資格取得を学生個人の学習意欲の向上策として扱ってきたため、「褒めの教育」の成果の一部として取り扱い校長表彰を行ってきました。したがって、資格取得による単位認定については、現在実施していません。
- ・外国留学については英語科教員によるガイダンスや特別講座等の支援を行い、積極的に推進しています。本校の特色として単位互換により在学のみで留学できる制度を発足させ、より一層の充実を目指しています。
- ・外国留学プログラムの実施ならびに全ての支援は、金沢高専の国際交流委員会と同委員会より指示を受けた英語科が主体となって行っています。国際交流委員会では、留学先のオタゴ・ポリテクニクでの学習内容、留学規定、留学参加者の選抜から出発までの準備内容、留学中の諸注意などの全ての実施に関わる事をこの委員会で討議し決定しています。英語科は、国際交流委員会の指示を受けて実務的作業を行っています。
- ・本校には留学生が在学していませんが、13人の外国人教員を要している関係上、関連総務を実施するための女性職員1名を雇用しています。業務処理から得たノウハウを蓄積しており、これが今後の留学生受け入れに寄与できるものと考えています。
- ・本校には現在商業高校出身の編入生が、1名在学しています。なお、平成18年度に卒業した学生は工業高等学校出身者であり、中学時代の同級生が在学したことで学生生活に溶け込め、専門科目には違和感なく溶け込めました。数理科目においては必要に応じて個別指導を実施することで対応しました。現在の編入生についても、環境への対応も早く、問題ありません。
- ・課外活動に関しては、3年生まで全員が部活動に参加することを奨励しており、教員が各部の顧問を担当しています。部活動のコーチは、本校の非常勤職員としての身分で採用された者が当たるなど、支援体制の充実に努力しています。各種コンテストへの参加を希望する学生が増えてきたことから、「プロジェクト」活動として担当教員が活動の支援を行っています。
- ・学生会に対しては、学内に学生会室を置き、学生主事が活動の助言や支援を行っています。(資料8-1-

- 1 1 「金沢工業高等専門学校学生会会則」)

- ・本校には、クラブハウスがあります。全ての部活動に居室が提供できているわけではありませんが、有効に利用されていると認識しています。(資料8-1- - 1 2 「部活動について」)
- ・部活動については、学生会の規則に従って実施しております。

#### 〔評価〕

- ・クラス担任があらゆる学生相談窓口としての機能を持っています。クラス担任は、校長、教務主事、学生主事、学科長と日常的に情報交換を行っており、学生一人ひとりの状況を把握し、関係教員との情報共有に努めています。こうした取り組みによってガイダンスによる学生への情報提供は、適切に機能していると考えています。
- ・学習意欲の触発を教育の実践目標の一つとしている本校において、学生の学習上の相談は最も重要な「キッカケ」と位置付けられます。本校は、校長自ら率先して修学心得などを主体とした指導を実施する、留年学生を指導する等、学生の学習意欲に応える個別指導や特別講座の開設が行われており、学生の相談に積極的に対応しています。
- ・学園が運営する共用施設では、本校学生の利用は積極的であり、学生の満足度も高く、また、これら施設の職員も、本校の教育の実践目標を共有しており、学生の立場に立った組織運営が行われていると認識しています。(資料8-1- - 1 3 「各施設・設備の整備状況」)(資料8-1- - 1 4 「ライブラリーセンター入館者数」)(資料8-1- - 1 5 「工学設計教育センター夢考房 26 利用者数」)(資料8-1- - 1 6 「夢考房ライセンス取得者数」)
- ・KTC総合アンケートの分析結果に基づけば、学生からは現行の支援内容に対する苦情や要望は特にないと認識しています。
- ・学習支援に関する学生の新たなニーズは、KTC総合アンケートにおける学生の自由記述、アンケート結果に対する第三者による聞き取り調査や教職員との意見交換を通じて見出す努力を行っています。(資料8-1- - 1 7 「金沢高専に関するアンケート」)
- ・資格取得については、現在行っている特別講座の充実を図り、継続して支援することで成果が得られるものと考えています。(資料8-1- - 9 「自己開発センター利用案内」)
- ・外国留学に関しては、2学年時の希望者が多く苦慮している所です。学生の安全を考え留学先の選定には特に留意しております。単位互換によるニュージーランド留学については、本校職員として2名を現地採用し、万全を期す体制のもと実施しており、米国の短期英語研修には英語科の教員が4名程度引率者として同行しています。
- ・編入学生が1名と少数であったことから十分に目が行き届いた状況の中で、適切な対応ができたと考えています。また当人の学習における満足度も高い状態でした。
- ・本校の課外活動は、人間力養成の一翼を担う重要な位置付けにあります。そのため、支援体制の充実に、大きな努力を払っています。こうした努力の成果として、いくつかの部活動やプロジェクト活動において、一定の成績が収められているものと考えています。(資料8-1- - 1 8 「部活動一覧」)(資料8-1- - 1 9 「夢考房プロジェクト参加者数一覧表」)(資料8-1- - 2 0 「プロジェクト活動成果」)

(資料8 - 1 - - 1)  
「オリエンテーション日程」

4月1日(水)

	13:00	13:15	14:00	15:00	16:00
T1	教室 集合 点呼	ガイダンス	入学式	HR	奨学金 説明会
M1					
G1					
D2					
M2					
C2					
D3					
M3					
C3					
D4					
M4					
C4					
D5					
M5					
C5					

4月2日(木)

		この間の時間は、目安です									
		8:40	9:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
T1	大崎 富雄	10時 出発	穴水研修(1/3)								
M1	氏家 亮子										
G1	松下 臣仁										
D2	土谷 梓	対面式 始業式 着任式	健康診断	クラス 写真撮影	HR	修学ガイダンス					
M2	金井 亮										
C2	元木 光雄										
D3	諸谷 徹郎		HR	クラス 写真撮影	健康診断						
M3	小間 徹也										
C3	原 孝美										
D4	松本 裕		クラス 写真撮影	HR	キャリア デザイン ガイダンス	昼食		健康診断			
M4	古屋 栄彦										
C4	中野 真										
D5	南出 章幸		キャリア デザイン ガイダンス	HR	クラス 写真撮影	昼食		生活ガイダンス			
M5	伊藤 恒平										
C5	中川 秀敏										

4月2日(木) 8:20  
教職員写真撮影(プラザにて)

4月2日(木) 13:00  
新任教員ガイダンス(E-ラ)

<実施場所>

4月1日(水)

	13:00	13:15	14:00	15:00	16:30
多目的 ホール		入学式			
合同 講義室	保護者控室				
その他		プラザ		24号館	会議室

4月2日(木)

		この間の時間は、目安です									
		8:40	9:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
第1体育館	対面式・始業式										
合同 講義室				5年		4年		2・3年		5年	
2F多目的			2階多目的実験室(健康診断)							2階多目的実験	

<各階ガイダンス担当者>

修学ガイダンス	: 教務主事	(合同講義室)
生活ガイダンス	: 学生主事	(合同講義室)
キャリアデザインガイダンス	: 進路指導主事	(合同講義室)
安全教育	: 各学科の担当者	(教室)
健康診断	: 学級担任 副担任	(2F多目的実験室)
	(時間・場所の詳細は別途連絡予定)	
HR / HR / HR	: 学級担任 副担任	(教室)

<ホームルーム概要>

HR	連絡事項 他	・1年穴水研修について
HR	連絡事項 他	・2年以上ガイダンス実施概要 定期連絡業務について
HR	クラスガイダンス	・時間割発表 ・教科書購入チェック ・学級役員の選出 ・学習支援 図書保存ファイルの配付

4月3日(金)

	1	2	3	昼 休 み	4	5	6	7
	8:40	9:40	10:40		12:10	13:10	14:10	15:10
T1	穴水研修(2/3)							
M1								
G1								
D2	安全教育 [南出]	キャリア デザイン ガイダンス	校長講話	昼食	キャリア デザイン HR	HR	生活ガイ ダンス	
M2	安全教育 [古屋]				キャリア デザイン HR			
C2	安全教育 [元木]				キャリア デザイン HR			
D3	キャリア デザイン ガイダンス	安全教育 [語谷]	キャリア デザイン HR	昼食	HR	生活ガイ ダンス		
M3		安全教育 [伊藤]	キャリア デザイン HR					
C3		安全教育 [小坂]	キャリア デザイン HR					
D4					安全教育 [香林]	キャリア デザイン HR	HR	修学ガイ ダンス
M4					安全教育 [秋山]	キャリア デザイン HR		
C4					安全教育 [坂倉]	キャリア デザイン HR		
D5					校長講話	キャリア デザイン HR	HR	
M5				キャリア デザイン HR				
C5				キャリア デザイン HR				

4月4日(土)

	1	2	3	4	5	6	7	
	8:40	9:40	10:40	12:10	13:10	14:10	15:10	
T1	穴水研修(3/3)							
M1								
G1								
D2								
M2								
C2								
D3								
M3								
C3								
D4								
M4								
C4								
D5								
M5								
C5								

4月3日(金)

	1	2	3	昼 休 み	4	5	6	7
	8:40	9:40	10:40		12:10	13:10	14:10	15:10
多目的 ホール								
合同 講義室	3年	2年	2年		5年	3年	2年	4・5年
その他								

4月4日(土)

	1	2	3	4	5	6	7
	8:40	9:40	10:40	12:10	13:10	14:10	15:10
多目的 ホール							
合同 講義室							
その他							

<キャリアデザイン 概要>

キャリアデザイン 平成21年度 個人目標の設定

<定期健診の予定>

定期健康診断

4月 2日(木) : 2～5年生 (2F多目的実驗室  
3・5年生全員…聴力検査も)

4月 7日(火)午前 : 1年生 (多目的ホール)  
新入生全員…レントゲン

心臓検診

4月13日(月)8:40-12:10 : 1年生 (会議室)  
" 2年生以上は、経過観察者のみ

(資料8 - 1 - - 2)

「地域連携センター」

**地域連携教育センター**  
CCAЕ

金沢高等と地域社会との連携協力の下に、地域連携教育センター(Center for Community-Arranged Education[CCAЕ])を開設。学生が倫理観や社会貢献の精神を涵養し、地域社会の活性化に必要な専門知識や技術の理解と修得に努めることにより、地域社会との文わりを通じて自己啓発、自己研鑽の体得に資することを目的とする。

**開設時間**  
月曜日～金曜日……8:40～19:00  
土曜日……9:00～12:00

**活動内容**  
①個人の能力を進展するための修学指導  
本校学生の基礎学力の向上を目指して、毎日放課後に数学・物理・化学の分野を中心として、マンツーマンで指導を実施する。  
月曜日(16時～19時)……数学初級  
火曜日(16時～19時)……物理・化学  
水曜日(16時～19時)……数学中級  
木曜日(16時～19時)……物理・化学  
金曜日(16時～19時)……数学上級  
土曜日(9時～12時)……数学全般  
②地域教育支援活動  
小・中・高校等に対する出前授業の実施、総合学習教育協力など  
小・中・高校等に対する理数教育協力  
(サイエンスパートナーシッププロジェクト[SPP])  
③創造技術教育における「モノづくり技術者育成支援事業」に参画する企業との連携を支援する活動  
④広報に関する支援活動

**地域と共に学ぶ。  
地域と共に進む。**

(出典:「学生便覧 2010」P.124)

(資料8 - 1 - - 3)

「カウンセリングセンター」

本校では、みなさんが有意義な学生生活を送れるようにカウンセリングセンターを設け、学生生活をサポートしています。みなさんが日常生活を送るうえで、いろいろな悩み、不安、困ったことが生じた時、専門のカウンセラーの先生が相談に応じてくれます。自分一人できよくよせず、気軽に相談してください。相談内容については、厳く秘密が守られています。

場所は、27号館に直接行ってもよいですし、予約をすれば本校の31・109室(校舎1階ロビーつき当りまの部屋)でも可能です。

**■カウンセリング予約受付時間**  
月曜日～金曜日……12:00～17:00  
※其外予約制です。

**■カウンセリングを受けられる時間**  
月曜日～金曜日……13:00～19:00  
土曜日……13:00～17:00  
※休日はお休みします。  
※長期休業中のカウンセリング受付についてはお問い合わせください。

**■学生生活一般の相談(生活相談)**  
月曜日～金曜日……8:30～17:00  
土曜日……8:30～13:00  
※予約は必要ありません。休日はお休みします。

**学生相談**  
カウンセリングを受けるための手順

- カウンセリングセンター(27号館)受付で希望の時間に予約する
- 予約カードを受け取る
- 予約の時間にカウンセラーを訪ねる  
(やむを得ず来れないときは、事前に連絡する)
- カウンセリングを受ける  
(終わった後カウンセラーと次回予約をする)
- 予約の時間に再びカウンセラーを訪ねる

(出典:「学生便覧」2010]P.94)

(資料 8 - 1 - - 4)

「見学会のご案内」

平成 21 年 4 月 24 日

保 護 者 各 位

金沢工業高等専門学校  
育友会長 高 島 茂 生  
校 長 山 田 弘 文

### 穴水湾自然学苑見学会について (ご案内)

拝啓 新緑の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は本校の教育に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

ところで下記のとおり、保護者の方々を対象に穴水湾自然学苑見学会を開催いたしますのでお知らせ申し上げます。

ご存知の通り本校は、人間教育に最も力点をおきながら、個性的、先進的な教育を実施しております。この人間教育の象徴が「穴水湾自然学苑研修」であり、学生は在学中 3 回、穴水湾自然学苑での合宿に参加して、「人間と自然」ならびに「キャリアデザイン」をテーマとしたユニークな研修を受けます。卒業生にとっては、穴水湾自然学苑は高専生活の重要な思い出の場となっています。

そこで、保護者の方々にも同学苑を見学していただき学生達の研修の一端を体験していただきたく、本年も見学会を企画いたしました。この見学会は例年、多くの方々にご参加いただき好評をいただいております。

丘の上の学苑からは能登半島国定公園の穴水湾が一望でき、その美しさは格別です。また見学会では、海洋活動や能登湾クルージングなども計画されています。お子様の学年に関わらずぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 日 時

平成 21 年 5 月 23 日 (土) 9 時 00 分～18 時 00 分 (雨天実施)

#### 2. 場 所

金沢工科大学園「穴水湾自然学苑」

#### 3. 実施要領

9 時 00 分	高専プラザ集合
9 時 10 分	高専出発 (バス)
11 時 50 分	入苑式
12 時 30 分	昼食 (自然学苑食堂: 無料)
13 時 10 分	海洋活動ほか
15 時 10 分	退苑式
15 時 30 分	離苑
18 時 00 分	高専着・解散

#### 4. 申込方法

別紙にて平成 21 年 5 月 20 日 (水) までにファックスでお申込みください。

FAX: 076-248-5548



## 保護者ら33名がカッター漕艇を体験

育友会穴水湾自然学苑見学会



保護者を対象とした、育友会穴水湾自然学苑見学会が5月23日(土)に実施され、保護者33名が参加した。金沢高専からは山田弘文校長、瀧本明弘学生主事、向井守一般教科主任、宮野純光准教授の4名の教員が同行した。

この見学会は昨年からの、多数の保護者の方が参加しやすいようにと日帰りのスケジュールで実施されるようになった。そのためか今年も小学生連れなど家族での参加がみられた。一行は9時10分に金沢高専を出発し、穴水湾自然学苑へと向った。当初は天候が心配されたが、バス移動の途中からは日差しも見え、見学会日和となった。

自然学苑に到着後は、3階の研修室で入苑式を行なった。入苑式では相岡宣好育友会会長の挨拶の後、自然学苑の長谷川政秀苑長より自然学苑研修での目的について説明があった。自然学苑の先生よりスケジュールの確認の後、昼食会へと移行した。2階食堂では穴水の海の幸を使った料理が用意され、保護者同士、保護者と教員との間で話合いの時間ももたれた。

昼食後は、ハーバーに下りて、11名ずつ3班に分かれ、カッター漕艇を行うためヘルメット、救命胴衣を装着の

後、自然学苑の先生方より説明を受けた。

過去の見学会に参加され、経験されている保護者も数名いたが、大部分の方は初体験であり緊張の面持ちで話を聞いていた。

実際にカッターに乗ってみると、予想外の揺れに戸惑いを隠せない様子であったが、説明に沿って練習を重ねるうちに怖さも忘れていったようであった。

練習の後は班ごとに湾内へ漕ぎ出し、カッター漕艇を満喫していた。

カッター漕艇の後は、アルタイル号に乗り込み、穴水湾内のクルージングに出かけた。クルージングでは湾内の景色を眺めたり、各自で親睦を深めたりとゆったりと過ごし、心地よい風と波しぶきを受けながら、カッター漕艇での疲れを癒した。

短い日程ではあったが、保護者同士、そして教員との親睦を図る有意義な時間であった。また、保護者には子供たちが行う研修と同じ経験をするという貴重な時間となった。

穴水湾自然学苑見学会に参加して

和田 育子(国際コミュニケーション情報工学科3年 恵慈の母)



(資料8 1 - 6「共用施設の状況」)

・ライブラリーセンター(図書館)

少人数での英語教育の授業にゼミ室を利用、  
図書館・放課後の自学自習に利用  
卒業研究論文の閲覧と研究活動に利用  
情報検索ガイダンス(利用者教育)

(マルチメディア考房)

コンピュータによる創作活動の場として利用

・工学設計教育センター(夢考房)

機械実習用施設として利用

モノづくりの活動施設として利用

(スポーツ考房)

トレーニング・体力増進・健康管理施設として利用

・自習室

24時間会館の自習室。パソコン環境が整いグループによる討議等も  
実施可能

・女性ラウンジ

LC最上階の全フロアに設置。女性専用室

・自己開発センター

資格取得教育の支援、資格の相談や講習会に利用

・穴水湾自然学苑

「人間と自然」教育に利用

・天池自然学苑

部活動に利用

・池の平セミナーハウス

「人間と自然」教育に利用

・扇が丘診療所

健康診断や内科的疾病治療等に利用

・工学基礎教育センター

数理教育の支援

・情報処理サービスセンター

情報教育の支援

・食堂・購買

(資料8 - 1 - - 7)

「利用者アンケート」

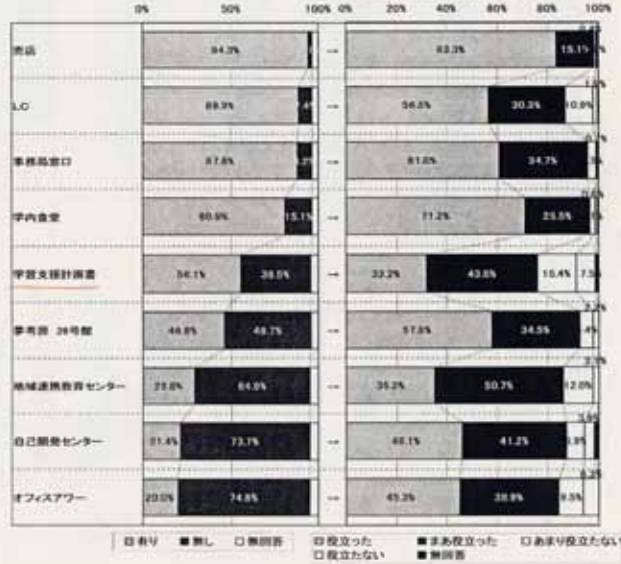
<3-3> 学生サポートに関して

■学生サポートの満足度

- 学生サポートに関しては、まず各サポートの利用率を聞き、利用経験が「有り」という回答者にのみ、その満足度を聞いた。
- 利用度が最も高かったのは「売店」であり、94.3%が利用経験ありと答えていた。次いで「L.C」「事務局窓口」「学内食堂」と続いていた。
- 一方、利用率が最も低かったのは「オフィスパワー」であり、利用経験者は20.0%であった。また、「自己開発センター」「地域連携教育センター」などの利用率も低く、2割～3割程度であった。
- 満足度では「役立った」と「まあ役立った」の合計で比べると、「学習支援計画書」の満足度はやや低いものの、その他は8割以上が満足と答えていた。
- 「役立った」だけで比べると「売店」の満足度が非常に高く、次いで「学内食堂」「事務局窓口」「参考房26号館」「L.C」と続いていた。「参考房26号館」を利用する学生は半数程度であるが、利用者の満足度は高い施設と言える。
- 満足度が最も低かったのは「学習支援計画書」であった。基本的には全員が使うべきものであるが、利用率は56.1%であり、「役立った」は32.2%にとどまっていた。
- 「地域連携教育センター」も利用率が29.8%、「役立った」は35.2%で、満足度は低かった。

■学生サポートの利用率(左グラフ)と満足度(右グラフ)

(※満足度は利用者からの結果)



(出典:「KTC総合アンケート調査結果」P29)

(資料8 - 1 - - 8)

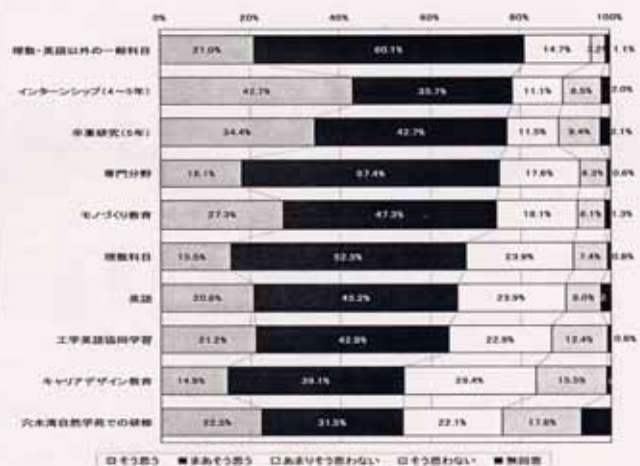
「授業に関するアンケート」

<3-1> 授業に関して

■授業に対する評価

- 授業に対する満足度は10の科目に関して聞いていたが、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせたもので比較すると、最も満足度が高かったのは「理数・英語以外の一般科目」であり、81.1%が満足と答えていた。
- 上記に次いで「インターンシップ」の満足度が高かった。これは4～5年生だけに聞いたものであるが、「そう思う」が42.7%であり、非常に満足度が高い。同様に「卒業研究」は5年生だけに聞いているが、34.4%が「そう思う」であり、こちらの満足度も非常に高いと言える。
- ここまでの3科目に「専門分野」「モノづくり教育」を加えたものが満足度の高い上位5科目となるが、「理数・英語以外の一般科目」を除くと、いずれも専門性の高い科目であり、学生の興味がうかがえる。
- 一方、満足度が低かったのは「穴水湾自然学苑での研修」と「キャリアデザイン教育」であり、いずれも満足している学生は半数程度であった。
- 「工学英語協同学習」「英語」の満足度もやや低めであり、満足しているという回答は6割強であり、4割は不満と答えていた。

■授業に対する満足度(在学生のみ)



(出典「平成16年度 KTC総合アンケート調査結果」P.26)

(資料8 - 1 - - 10)

「資格試験講座開設状況・受講者数」

講習会名	コース名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	総計
危険物取扱者(乙種各種)							0
二級ボイラー技士	(認定)	0	11	3	1	23	38
	(筆記)						0
第三種電気主任技術者	(理論)						0
	(機械)						0
	(電力)						0
	(法規)						0
第三種電気主任技術者	直前	(理論)	3			5	8
		(機械)	2			6	8
		(電力)	3			6	9
		(法規)	3			6	9
第二種電気工事士	(筆記)	24	46	16	5	21	112
	(技能)	19	14	10	5	10	58
基本情報技術者 (第二種情報処理技術者)	直前						0
システムアドミニストレータ	直前						0
実用英語検定	準1級						0
	2級						0
	準2級						0
	3級						0
日本語文書能力検定	2級						0
	準2級						0
	3級	2	16				18
	4級	4					4
実用数学技能検定	2級						0
	準2級						0
	3級						0
日商簿記検定	3級						0
ガス溶接技能者(認定講習)						26	26
電気取扱業務安全衛生特別教育(認定講習)		47	32	48	34	52	213
照明コンサルタント							0
宅地建物取引主任者							0
機械設計技術者	3級					12	12
Word/Excel	一般				23	64	87
合計		107	119	77	68	231	602

(資料 8 - 1 - - 1 1 )

「金沢工業高等専門学校学生会会則」

# 金沢工業高等専門学校学生会会則

**第1条** 本会は、金沢工業高等専門学校学生会と称する。

**第2条** 本会は、学校の指導のもとに学生が自発的な活動を行い、それを通して自治的精神の向上を図り、人格を陶冶し、高等専門教育の目的達成に資することを目的とする。

**第3条** 本会は、金沢工業高等専門学校(以下「本校」という。)の全学生(以下「会員」という。)をもって構成する。

**第4条** 本会に次の役員を置く。

- 1) 会 長 1名
- 2) 副 会 長 2名
- 3) 書 記 2名
- 4) 会 計 2名
- 5) 監査委員 3名

**第5条** 役員は、会員中より選挙によって選出される。

**第6条** 役員の任期は、1年とし毎年11月1日から翌年の10月31日までとする。ただし、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、任期が満了しても次期役員が就任するまではその任務を続けなければならない。

**第7条** 役員(監査委員を除く。)は、学生会議会の議員の3分の2以上の要求があれば辞職しなければならない。

**第8条** 役員は、病気又はその他の理由により職務を執行できないときは辞職しなければならない。

**第9条** 役員に欠員が生じた場合には、2週間以内に補欠選挙を行わなければならない。

**第10条** 会長は、本会を代表し会務を総理する。ただし、校外の他の団体と関連ある場合には、本校の学生主事の指導承認を受けなければならない。

**第11条** 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。

**第12条** 書記は、議会の書記を兼任し、記録書類の整備保管に当たり、その庶務的事務を取り扱う。

**第13条** 会計は、本会の会計に関する事務を取り扱い、学生主事との連絡のもとに本会の財務管理に当たり、出納については本校の事務局長に委任する。

**第14条** 学生会議会(以下「議会」という。)は、本会の最高議決機関であり、役員、次条に定める議員及び第29条に定める専門委員会の委員長をもってこれを組織する。ただし、議決権は議員のみに与えられる。

**第15条** 議員は、各学級より選出された学級委員2名が兼任する。

2 議員の任期は半年とし、前期は4月1日から同年10月15日まで、後期は10月16日から翌年3月31日までとする。

**第16条** 議員は、議会で行った演説、討論又は表決について議会外で責任を問われない。

**第17条** 部の部長及び主務は、必要に応じて議会に出席することができる。ただし、発言権のみを有するものとする。

**第18条** 定例議会は、毎年5月及び11月に開催し、議長が招集する。

**第19条** 臨時議会は、次の場合に開かななければならない。

- (1) 執行委員会が必要と認めたととき。
- (2) 総議員の3分の2以上の要求があったとき。

2 臨時議会は議長が招集する。

**第20条** 議会は、総議員の3分の2以上の出席により成立する。

2 議会を欠席する場合は、委任状を提出しなければならない。

**第21条** 議会の議事は、出席議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

**第22条** 議会の招集期日、場所、議題は、議会開会の3日以前に公示しなくてはならない。ただし、臨時議会の場合はこの限りでない。

**第23条** 議長は議員の互選によって選出され、副議長は議長が指名する。

**第24条** 議長、副議長の任期については、第15条第2項の規定を準用する。

**第25条** 本会の最高の執行機関は、執行委員会とする。

**第26条** 執行委員会は、第4条に定める役員(監査委員を除く。)及び第29条に定める専門委員会の委員長をもって組織する。

**第27条** 執行委員会は、本会に必要な事項の原案を作り議会に提出する。

**第28条** 執行委員会は、議会の決議事項を執行する。

**第29条** 本会に執行委員会の職務を補佐するために、次の専門委員会を設置する。

- (1) 学級委員会
- (2) 文化委員会
- (3) 体育委員会
- (4) 公安委員会
- (5) 特教委員会
- (6) 部活動委員会



- 第30条 学級委員会は、学級委員によって組織し、学生会の運営に協力する。
- 第31条 文化委員会は、文化委員によって組織し、文化的行事の運営に協力する。
- 第32条 体育委員会は、体育委員によって組織し、体育的行事の運営に協力する。
- 第33条 公安委員会は、公安委員によって組織し、学生主事との連絡のもとに校紀校風の刷新向上にあたる。
- 第34条 特教委員会は、特教委員によって組織し、学校行事の運営に協力する。
- 第35条 部活動委員会は、各部の部長によって組織し、各部の健全な活動向上にあたる。
- 第36条 専門委員会に委員の互選により選任された委員長1名、副委員長1名を置く。
- 第37条 その他必要に応じ議会の承認を得て特別専門委員会を設けることができる。
- 第38条 本会には、会員の健全な趣味、豊富な教養、強健な体力を養うとともに集団協力の態度を培うために、別表に掲げる部及び同好会を置く。
- 第39条 部には、部長及び主務を置く。
- 第40条 部の新設、合併及び廃部は、部活動委員会で協議議決した後、議会で協議可決し、校長の承認を得て決定する。
- 第41条 会員の同好者をもって構成する同好会の新設は、部活動委員会の議決、議会の承認及び校長の決定により認めるものとする。
- 第42条 監査委員会は、本会の監査機関である。
- 第43条 監査委員会は、3名の監査委員をもって組織する。
- 第44条 選挙管理委員会は、各学級から2名ずつ選出された委員をもって組織し、役員選挙の管理に当たる。
- 第45条 選挙管理委員会は、委員の互選によって選出された委員長、副委員長各1名を置く。
- 第46条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。
- 第47条 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
- 第48条 本会の予算、決算は、議会の承認を受けるものとする。
- 第49条 校長は、本会の最高顧問として本会の議決が学校行政や学生指導に障害を及ぼし、若しくは校長の法的責任を侵すと認めるときは、これを拒否することができる。
- 第50条 本会には、校長によって任命された学生会顧問教員を置く。
- 第51条 部には、校長によって任命された部顧問教員を置かなければならない。
- 第52条 この会則の改正は、議会の総議員の3分の2以上の賛成で議決され、校長の承認を得て施行される。

## 学生会組織図



## 別表

### 運動部

- 1)陸上競技部
- 2)バレーボール部
- 3)バスケットボール部
- 4)ソフトテニス部
- 5)テニス部
- 6)野球部
- 7)サッカー部

- 8)卓球部
- 9)バドミントン部
- 10)水泳部
- 11)剣道部
- 12)柔道部
- 13)スキー部
- 14)ハンドボール部

### 文化部

- 1)吹奏楽部
- 2)放送・無線部
- 3)電子計算機部
- 4)写真部
- 5)美術部
- 6)ハンズオン部
- 7)将棋部

### 附則

本会の運営に必要な事項は細則で定める。

- 1 この会則は昭和41年4月1日より施行する。  
(2~4は省略する)
- 5 この会則は、平成19年4月1日から施行する。
- 6 この会則は、平成21年4月1日から改正施行する。

(出典:「学生便覧」2009・P52)



(資料 8 - 1 - - 12)

「部活動について」

# 部活動について

## 部活動の意義と活動のすすめ

正課の授業による人間形成は意義あるものだが、一方部活動は教室では得ることが出来ない大切な一面を有し、大きな教育的効果が期待できます。

部活動は、自主的な集団活動により、心身ともに健全な学生を育成する極めて重要な教育活動です。学級や学年の枠を越え、しかも縦・横の人間関係の体験、部員としてリーダーとしての体験、また指導教員の人間性に触れていくことによって、全人格形成を目指すことができ、一層充実した学生生活にすることができます。さらに1週間に1度、特に積極的な活動を推進する「部活動の日」が定められています。

以上の意義により、本校では部活動をおおいに奨励し、特に1、2、3年生においては全員が部活動に参加しなければなりません。

## 活動の活性化と部の所属について

部活動は、自主的、自律的な精神に満ちた人間形成の場であり、運動部では試合、練習試合を多くすることによって、また、文化部では、展示会、発表会を催したり、コンテストなどに出場することによって活動を活性化できます。

しかし、部活動は集団活動であるので、部員数が部の存続に直接影響を与えます。1つの部に部員が集中しすぎたり、逆に少なくとも活動に支障をきたしますので、この弊害を解消するため、新入生の部の所属については、新入生に所属したい部の希望をとり、顧問教員の要望も考慮して決定しています。

## 部活動に関する行事

### 全国高等専門学校体育大会(全国高等専門学校体育大会東海・北陸地区代表決定戦、北陸地区高等専門学校体育大会)

高専教育の一環として、学生にひろくスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成することを目的に、毎年8月に行われています。

全国を8地区のブロックに分け、8地区からの代表が全国大会に出場することになっています。

本校は東海・北陸地区のブロックに所属しており、この代表権を得るための北陸地区高等専門学校体育大会が、富山、富山商船、石川、福井、本校の各高専が参加して、毎年7月に行われています。

### 全国高等学校体育大会(石川県高等学校体育大会)

1、2、3年生の運動部員は高等学校体育大会への参加が可能であり、多くの部が春と秋の大会に出場しています。

### 文化部の発表と吹奏楽部定期演奏会

毎年10月、高専祭の一環として各文化部の発表が行われています。吹奏楽部は定期演奏会を行い、学校内外に日ごろの練習の成果を発表しています。

### ハンズオン部の高専ロボコン

高等専門学校の学生たちが同じ課題のロボット製作に取り組み、その成果を競い合う「アイデア対決ロボットコンテスト」に毎年出場し、ユニークな「発想力」と「独創性」を養っています。

### 電気計算機部の高専プロコン

情報処理技術において、優れたアイデアと実現力を競う「高等専門学校プログラミングコンテスト」に毎年出場し、「優秀賞」を獲得するなど素晴らしい成果をあげています。

(出典:「学生便覧2009」P92)

(資料 8 - 1 - - 1 3 )

「各施設・設備の整備状況」

用途別室名	室数	座席数	パソコン台数	利用可能時間
高専ラウンジ		38		平日・土曜日 21時まで
コンピュータ演習室	2	122	122	平日 18時まで
ライブラリーセンター	150	1715	79	平日 22時、土・日曜日 17時まで
夢考房	5		8	平日 21時、土・日曜日 17時まで
スポーツ考房・体育館				平日 20時、土曜日 16時まで
自己開発センター	3	8		平日 17時、土日曜日 17時まで
穴水湾自然学苑		174		
天池自然学苑	30			
食堂・購買	3	630		平日 15時まで(売店17時まで) 土曜日 17時まで(売店14時まで)

(資料 8 - 1 - - 1 4 )

「ライブラリーセンター入館者数」

年月	学生			教職員	卒業生	見学者	その他	合計	開館日数(日)	平均入館者数(人/日)
	大学	大学院	高専							
S57～H17年度	7,455,368	241,433	629,074	251,925	31,961	179,182	115,529	8,904,472	7,225	1,232
平成18年度	414,580	6,014	41,362	18,430	1,478	7,016	5,287	494,167	339	1,457
平成19年度	413,234	7,069	39,655	18,070	1,265	7,209	5,755	492,257	338	1,456
平成20年度	402,354	8,128	34,032	19,678	1,357	7,704	1,283	474,536	337	1,408
平成21年度	404,091	10,354	32,469	21,355	1,408	6,199	1,604	477,480	336	1,421

(資料 8 - 1 - - 15)

「工学設計教育センター夢考房 26 利用者数」

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
4月	80	211	76	175	195
5月	200	149	224	210	219
6月	124	123	350	362	356
7月	105	58	245	257	224
8月	193	113	305	240	159
9月	476	457	504	564	415
10月	454	503	735	543	442
11月	291	308	427	481	452
12月	329	395	612	726	574
1月	303	302	490	473	273
2月	99	235	486	159	144
3月	10	73	309	164	100
合計	2,664	2,927	4,763	4,354	3,553

(資料 8 - 1 - - 16)

「夢考房ライセンス取得者数」

平成21年度  
分を入れる

講習会名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	計
NCフライス盤	3	0	0	1	5	9
テクニカルガイド	45	-	-	-	-	45
フライス盤	51	28	72	87	38	276
ボール盤	53	21	72	91	40	277
安全講習	-	65	179	54	58	356
旋盤	52	50	115	50	38	305
電気	7	12	57	49	22	147
板金	49	49	62	55	39	254
平面研削盤	3	0	0	3	-	6
木工	50	50	61	53	39	253
溶接	50	44	59	67	38	258
プリント基板	0	0	1	5	4	10
回路設計	0	0	2	0	2	4
総計	363	319	680	515	323	2,200


夢考房での安全講習会は平成12年で終了

(資料8 - 1 - - 17)

「金沢高専に関するアンケート」

<2-3> 満足度と目的・目標意識に関するまとめ

■満足度に関するまとめ		■目的・目標に関するまとめ	
満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 回答した学生の18.1%は「満足」、49.4%は「まあ満足」と答えており、合わせると67.5%が高専に満足している。</li> </ul>	目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 入学前に「目的・目標」を持っていたかどうかを聞いたところ、62.0%が持っていたと答えていた。</li> <li>□ 現時点で「目的・目標」を持っているとの回答は50.2%で、入学前よりも少なくなっており、心境の変化がうかがえた。</li> </ul>
経年変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 満足している学生の割合はH17からH19まで徐々に増加していた。そしてH20には、調査時期や選択肢が変わったという背景もあるが、満足している学生が急増していた。</li> <li>□ 今回の調査でも満足している学生は前回をわずかに上回っており、満足度は継続的に上がっていると言える。</li> </ul>	経年変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 前回調査と比べると、入学前に「目的・目標」を持っていた割合は1.8ポイント低下していたが、ほぼ横這いと言える。</li> <li>□ 現段階の「目的・目標」では前回は3.4ポイント上回っており、在学中に「目的・目標」を持っている学生がわずかではあるが増加していると言える。</li> </ul>
学年別比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学年別には「5年生」の満足度の高さが目立っている。特に今年度の「5年生」はここ5年間の中でも突出しており、特徴のある学生群と言える。</li> <li>□ 「1年生」の「満足」は「5年生」に次ぐ高さであったが、「まあ満足」まで合わせると「2年生」より少ない。そして、入学直後にも関わらず、3割が「不満」と答える傾向はここ4年間変わっていない。</li> <li>□ 「3年生」「4年生」は満足度が低く、特に「3年生」では「満足」が1割に満たなかった。この2学年はいずれも前年の同学年を下回っており、4割が不満を持っている。</li> </ul>	学年別比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 入学前では「1年生」と「3年生」で「目的・目標あり」という回答がやや多く、「5年生」が少なかったが、「5年生」は思い出しながら答えているため、低めになったものと思われる。</li> <li>□ 現段階では「3年生」と「4年生」で「目的・目標あり」の割合が少ないが、他の学年は同程度であった。</li> <li>□ 前回と比べると「4年生」は11.7ポイント低く、この学生群は目標が見えていないように思われる。一方、「5年生」は前回と15.2ポイント上回っており、目的・目標が見えていると言える。</li> </ul>
同一学生群比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学生群が異なっても、1～3年生の満足度はやや低下～横這いで4～5年生にかけては満足度が向上するケースが多い。</li> <li>□ 「現5年生」は4～5年生にかけて一気に満足度が上がっており、満足した状態で卒業したものと思われる。</li> <li>□ 「現2年生」は1～2年生にかけて満足度が上がっており、これまでに見られない特徴があった。</li> </ul>	学科別比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 入学前では「国情・グローバル」の「目的・目標あり」の割合がやや高めで「機械」がやや低めであった。この傾向は前回と変わっていないが、「国情・グローバル」と「電気情報・電気電子」は前回よりも「目的・目標あり」の割合がわずかに増加していた。</li> <li>□ 現段階でも「国情・グローバル」で「目的・目標あり」が多く、前回は大きく上回っており、良い状況にあることがうかがえる。</li> <li>□ 「電気情報・電気電子」と「機械」は同程度であったが、「電気情報・電気電子」は前回をわずかに下回っていた。</li> </ul>
学科別比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「満足」と「まあ満足」を合わせると、学科の差は小さいが「機械」の満足度がやや高く、「電気情報・電気電子」がやや低い。</li> <li>□ 「電気情報・電気電子」はH18から継続的に満足度が上がる傾向が見られ、他の2学科はH20に上がって今回は横這いであった。</li> </ul>		



- ◆ 学生全体の67.5%が満足している。満足度は継続的に上がっており、良い状態にあると言える。また、現段階で「目的・目標あり」という学生は50.2%であり、この割合も前回を上回っている。ただし、3割が不満を持ち、5割が目的・目標を持っていないという事実もあることはしっかり認識しておく必要がある。
- ◆ 「現5年生」は満足度も高く、前年の同学年よりも目的・目標が見えているようであり、非常に良い状態で卒業したものと思われる。一方、「現3年生」「現4年生」の満足度は低めで、「現4年生」は学年が上がっても満足度が上がる傾向が見られなかった。
- ◆ 満足度は学科間の差が小さいが、「電気情報・電気電子」は継続的に上がっており、「目的・目標あり」は「国情・グローバル」で多かった。

(出典「平成21年度 KTC総合アンケート調査結果」P.17)

(資料 8 - 1 - - 18)

「部活動一覧」

運動部		文化部
1) 陸上競技部	8) 卓球部	1) 吹奏楽部
2) バレーボール部	9) バドミントン部	2) 放送・無線部
3) バスケットボール部	10) 水泳部	3) 電子計算機部
4) ソフトテニス部	11) 剣道部	4) 写真部
5) テニス部	12) 柔道部	5) 美術部
6) 野球部	13) ラクビー部	6) ハンズオン部
7) サッカー部	14) スキー部	7) 将棋部

(資料 7 - 1 - - 19)

「夢考房プロジェクト参加者数一覧表」

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	総計
ロボット	8						8
ソーラーカー	4	8	4	6	1		23
ソーラーボート	1						1
風力発電	1						1
福祉機器開発		2	1				3
自律走行車		4					4
メカニカルサポート			1	2	1	1	5
組込みソフトウェア					5	5	10
	14	14	6	8	7	6	55

(資料 7 - 1 - - 20)

「プロジェクト活動成果」

年度	ソーラーカー(夢考房プロジェクト)	RoboCup(夢考房プロジェクト)	ソーラーボート(夢考房プロジェクト)	風力発電(夢考房プロジェクト)	メカニカルサポート(夢考房プロジェクト)
平成17年度	ソーラーカーレース鈴鹿2005 総合20位	中型リーグ春季キャンプ競技会(を本学にて開催) リーグ3位 RoboCup 2005 OSAKA 中型ロボットリーグ ベスト8	-	1号機[陸上用]の試験 風力発電システム2号機[洋上用]の設計・製作 財団法人滋谷学術文化スポーツ振興財団・大学の新技术、研究活動への奨励金、採択	第5回レスキューロボットコンテスト 書類審査にて不採択 第12回かわさきロボット競技大会 予選敗退
平成18年度	ソーラーカーレース鈴鹿2006 総合14位(クラス8位)	RoboCup Japan Open 2006 北九州 中型ロボットリーグ3位、4足歩行ロボットリーグ決勝リーグ1回戦敗退 RoboCup 2005 Bremen / Germany 中型ロボットリーグ 予選敗退	ソーラー&人力ボート全日本選手権大会 耐久レース3位、スプリントレース12位、スラロムレース兼権	風力発電システム2号機[洋上用]完成 洋上での実験開始・検証	第6回レスキューロボットコンテスト 予選敗退 第13回かわさきロボット競技大会 予選敗退
平成19年度	ソーラーカーレース鈴鹿2007 総合11位(クラス8位) ミツバ賞3位	RoboCup Japan Open 2007 大阪 中型ロボットリーグ3位、4足歩行ロボットリーグ決勝リーグ1回戦敗退 韓国ソウルにて開催されたRobot World 2007(国際ロボットコンテスト)のデモンスト	ソーラー&人力ボート全日本選手権大会 耐久レース8位、スプリントレース13位、スラロムレース5位	2号機の不具合の改善、洋上での実験 新ブレードの設計・製作	第7回レスキューロボットコンテスト 本選 技術賞を受賞 トライアルデモンストレーションへの参加 実用機開発班発足
平成20年度	-	RoboCup Japan Open 2008 in Numadu 中型ロボットリーグ、ヒューマノイドリーグ ティーンサイズ、ヒューマノイドリーグキッズ サイズ参加	ハイブリッドボートの設計	新ナセルの設計・製作 新ブレードによる発電試験	第8回レスキューロボットコンテスト 本選 ベストチームワーク賞を受賞
平成21年度	ソーラーカーレース鈴鹿2009 総合13位(クラス8位)	RoboCup Japan Open 2009 in Osaka 中型ロボットリーグ、ヒューマノイドリーグ ティーンサイズ、ヒューマノイドリーグキッズ サイズ 出場 RoboCup 2009 GRAZ	ソーラー&人力ボート全日本選手権大会 耐久レース8位、スプリントレース9位、スラロムレース7位 学生ソーラー部門優勝	新ナセルの製作	第9回レスキューロボットコンテスト 本選 総合3位、ベストロボット賞受賞、 消防庁長官賞受賞

## 8.2 生活相談、進路指導

### 〔現況〕

- ・学生の生活に係わる指導や相談は、クラス担任及び学生主事、学生係が担当し、経済面に係わる相談や助言は事務局長が担当しています。特に、生活面において、早期の対応が必要な事もあり、毎日、学生の出欠状況を把握し、欠席者については、当日中に理由を保護者に確認しています。
- ・学生にはガイダンスで学生便覧の記載内容を説明し、学生生活における悩みや不安については、相談窓口の「心の相談（カウンセリングセンター）」での対応を伝えています。
- ・本校のクラス担任制は学生ガイダンス、修学指導、学生の自主的活動、生活面、進路指導に至る学生生活全般に渡って行き届いた指導を可能としています。
- ・女子学生に対しては、本校の女性教員を相談窓口とする仕組みを作り、学生に周知させています。（資料 8 - 2 - 1 学園の「性差別防止委員会規則」）
- ・キャンパス・ハラスメントに係わる相談については、キャンパス・ハラスメント防止委員会で対応しています。（資料 8 - 2 - 2 「キャンパス・ハラスメントについて」）（資料 8 - 2 - 3 「金沢工業高等専門学校キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程」）
- ・教職員には、「アカデミック・ハラスメント防止のヒント」、「セクシュアル・ハラスメント防止に向けて」を配付しています。また、FD活動における講演会において、関係する専門講師を招聘しこれらの問題に対する学習しています。（資料 8 - 2 - 4 「親業講座資料及び講義の一こま」）資料 8 - 2 - 5 「教師学講座資料」）
- ・本校には、スクールカウンセラーがおり、必要に応じて相談できる体制が整備されており、学生の立場を理解して対応するよう努力しています。（資料 8 - 2 - 6 「カウンセリングの取扱い要項」）
- ・学園には診療所があり、大学と共に本校学生が受診できるシステムになっています。専門の医師や看護師による学生の健康管理に努めています。（資料 8 - 2 - 7 「キャンパス内での診療」）
- ・経済面については、社団法人日本学生支援機構（旧 日本育英会）や県の奨学制度の利用を助言する等の対応を行っています。また経済的理由に対する対応とは異なりますが、特待生制度に基づく奨学金の給付を行っています。特待生制度は平成 22 年度からは「リーダーシップアワード」に変更し、努めて多くの学生が利用できるように変えます。
- ・本校進路指導は、校長の指導のもと、進路指導主事を中心に学科長・学級担任を核とし、全校的な進路指導体制を構築しています。進路指導主事は進路指導委員会のメンバーを中心に
  - ・進路に関する学生ガイダンスの実施
  - ・進路に関する保護者との連絡調整（資料 8 - 2 - 8 「保護者等への進路指導状況」）
  - ・企業訪問による就職開拓及び情報収集
  - ・就職に関する個別の学生指導
  - ・企業からの学校訪問の対応
  - ・進学希望者に対する受験指導
  - ・各学年対象の就職特別講座を実施
 を行っています。また、指導内容に応じて、全教職員の協力が得られる体制を整備しています。
- ・平成 21 年度には、文部科学省の委託事業（GP）「共同と共創によるキャリアデザイン」を受託すると共に、新たに各学年に応じたキャリアデザインノートを編纂し全学生に配布しています。
- ・平成 20 年度からは、校内から求人情報を一覧できる「進路指導サイト」、平成 21 年度からは「進



路指導資料室および資料コーナー」を開設し、学生に便宜を供与しています。

- ・本分野の取り組みに対する学生の満足度については、総合アンケートにより把握しています。(資料 8 - 2 - - 9「就職進学に関するアンケート質問」)
- ・本校の学生には、金沢工業大学との共用施設(教育支援組織)を利用することによって、充実した教育環境が提供されています。
- ・就職・進学率100%は、多年にわたる努力の成果として評価できると考えています。
- ・外国留学希望学生が増加している現状は、本校の英語教育および支援体制の成果と考えています。
- ・進路指導に対する学生の満足度は高いと認識しています。

### 〔評価〕

- ・学生の生活や経済面での相談には、常に保護者との連携が必要であり、毎年5月に開催される育友会において、保護者との面談を行うことで連携を図っています。欠席した学生の保護者については当日、また、必要に応じて、その都度保護者と個別に面談を行う等、学生の問題解決に努力しています。こうした取り組みは、保護者との高い信頼関係に繋がり、機能していると考えています。
- ・学生の健康やハラスメント等に対する体制は、整備されていると考えます。
- ・本校学生は、就職進学に対する指導体制にほぼ満足していると認識しています。
- ・本校における就職及び進学の達成率は過去5か年100%を維持しています。このことは、学生自身の努力の結果であると共に本校の進路指導体制が適切に機能している結果であると考えています。
- ・学習支援に関する学生の新たなニーズに関する調査が十分ではありません。学生に対する聞き取り調査を実施していますが、母集団の数に制約があり十分とはいえません。今後とも努力する方向で対応していきます。
- ・学生に対する学習を進めるためのガイダンスは、クラス担任や授業科目担当教員を中心として行う体制が整備されており、学生に周知する内容等の共通化を図るなど、適切に実施されています。
- ・学生に対する自主的学習を進めるための相談・助言体制としては、平成20年度までは「学習支援計画書」(シラバス)に、時間を特定したオフィスアワーの設定がなされていましたが、それ以外の時間であっても随時、クラス担任を中心として、授業科目担当教員、部活動顧問などが相談・助言に応じていました。しかしながら、学生の大部分が随時の相談・質問をするようになり、平成20年に実施した教育事情調査(米国、ロチェスター工科大学ほか)の結果を参考に、「随時」の様式を採用することとしました。このほか、補習授業、特別講座も実施し、機能しています。
- ・学生の自主的学習環境及びキャンパス生活環境については、高専ラウンジ、コンピュータ演習室、多目的実験室、地域連携センターなどの本校の専有施設のほか、ライブラリーセンター、マルチメディア考房、工学設計教育センター(夢考房)、自習室(7号館)、女性専用ラウンジなどの大学との共用施設があり、充実した環境が整備されていると考えています。各種の資格試験受験のための特別講座の開講や、外国留学のための国際交流高専委員会および英語教員による支援などの支援体制が機能しています。特に、学生が休学せずに留学できる単位互換による留学制度は本校の特色と考えられます。
- ・編入学生が居る場合には、個別指導を行うなどの学習支援が行われてきました。
- ・学生の組織的活動については、3年生までの部活動奨励、教員の積極的な部活動顧問担当のほか、学外コーチの参加など、支援体制の整備に努力しており、機能しています。

- ・ 学生の生活面に関しては、クラス担任、副担任、学科長や学生主事、学生係が担当となり指導・相談・助言を行っており、カウンセラーを配置した心の相談（カウンセリングセンター）の設置や、さらには、保護者と年2回の懇談など、指導・相談・助言体制が整備されており、機能しています。経済面での相談・助言は事務局が担当する体制が整備されており、機能しています。
- ・ 進路指導体制については、進路指導主事を中心に整備されており、進路に関する学生ガイダンス、企業訪問による就職開拓及び情報収集、就職に関する個別の学生指導、企業からの学校訪問の対応、進学希望者に対する受験指導、保護者等への進路指導などを、きめ細かく実施しており、機能しています。

〔改善点〕

アンケート調査を行っていますが完全とは認識していませんので、今後も学生の要望を十分聞くことに留意して行きます。

(資料 8 - 2 - - 1)

「性差別防止委員会規則」

## 性差別防止委員会規則

(目的)

第 1 条 本学園が定める「性差別の防止に関する指針」の適切なる運用を計るため、本委員会を置く。

(委員会)

第 2 条 委員会の委員は、理事長が任命する。

2 委員長は理事長が任命する。

3 委員長は委員会の業務を統括し委員会を代表する。

4 委員会は委員長が必要に応じて招集する。

5 委員長において必要ある時は、委員数名による小委員会を置くことができる。

(委員会業務)

第 3 条 委員会は次の事項について審議し、性差別防止の推進並びに性差別に関する調査を行う。

(1) 性差別防止に関する広報活動

(2) 相談窓口に関する事項

(3) 性差別の相談・苦情に関する調査

(4) その他委員会において必要な性差別防止に関する事項

(調査)

第 4 条 前条第 3 項による調査は、委員長が指名する委員数名による小委員会が行う。

2 委員長は必要に応じて相談者の精神的な保護を目的にカウンセラーを立ち合わせる等の措置を講ずることができる。

(守秘義務)

第 5 条 委員は前条による調査によって知り得た個人の情報を他に洩らしてはならない。

(連携)

第 6 条 相談・苦情に対応する場合、委員長は関連部署と密接に連携し、関係者の保護等必要な措置を講ずる。

(報告)

第 7 条 委員長は第 4 条の調査結果を速やかに人事委員長並びに学長又は校長に報告し、その措置を求めることとする。

(事務)

第 8 条 委員会の事務は学生相談室(カウンセリングセンター)が行う。

附 則

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

(出典 「金沢工業高等専門学校関係規則集」P.26)

(資料 8 - 2 - - 2)

「キャンパス・ハラスメントについて」

## キャンパス・ハラスメントについて

教育や研究、業務における教職員や学生の不適切な発言・行動で、精神面を含めて、された側の勉学や研究に支障を生じたり、その環境を悪化させることを、「キャンパス・ハラスメント」と言います。性差別や性的嫌悪感が元になるいわゆるセクシャル・ハラスメント、教育・研究に関連して生じるアカデミック・ハラスメントと呼ばれるものもこれに含まれます。単位の認定や成績評価、あるいは研究指導、就職の斡旋などにおいて、地位を利用するなどして相手に不利益や逆に不当な利益を与える対価型と、勉学や研究開発を悪化させる発言や行動をする環境型とがあります。

### 【対価型】

例えば…

- 個人的な欲求から、学生の利益または不利益を感じさせるような状況で性的なことを要求する。
- 学生に、本来の範囲を超えて勉学や研究を強要したり、不必要に相手を拘束する。
- 指導に従わない学生に暴言や暴力的な行為、意図的な無視をする。
- ことさらに威圧的に権威的、威嚇的な言動(電話やメールを含む)を行う。

### 【環境型】

例えば…

- 学生の気持ちに反し、プライベートについての質問や発言をする。
- 学生の個人的能力や身体的機能、性指向などへ配慮を欠いた発言をする。
- 特定の学生を傷つける発言をしたり、故意に噂を流す。
- 性の商品化を助長するような絵や写真を見せたりする。
- 教室や研究室で不必要に学生の身体に触る。
- 性的または下品な冗談を言ったり、性的な服従を迫る。

### これって、キャンパスハラスメント？

ケース① 講義中に先生が、いかがわしい冗談をいった。

周囲に合わせて笑っていたとしても、内心で嫌悪している場合は、キャンパス・ハラスメントに当たります。また、「部活でメンバーが必要以上に身体に触ってくる」などの、学生同士の間で発生するケースも含まれます。

ケース② 研究室の先生に飲酒やお酒のお酌を強要された。

不快に思っているが研究への影響などを考え強く拒否できない被害者に、立場が上の者が権限や地位を利用してハラスメントを行う例。隣の席へ座るよう強要したり、無理やりカラオケのデュエットを強いる場合も含まれます。

ケース③ 「男は家庭を背負う立場。しっかり勉強しろ」と言われた。

学問研究や、教育の立場においての誤った観点による性差別発言や行動である、「アカデミック・ハラスメント」の典型といわれるケースです。これは男性・女性どちらからでも、また同性間であっても対象になります。

ケース④ 教授の指示に従わなかったら以後、助言してくれない。

指導に従わない学生に対しての意図的な無視や暴言もハラスメントにあたります。学生にことさらに威圧的、権威的な言動をとったり、暴力的な行為、相手の人格もしくは身体を傷つける行為に至るケースも含まれます。

ケース⑤ ゼミ中に私生活のことをしつこく尋ねられた。

相手の意に反し、もしくは同意なしにプライバシーについての質問や発言をする。一見、気づきにくい例かもしれませんが、これもハラスメントになります。特定の相手を誹謗・中傷したり、風評を流すことも含んでいます。

#### ひとりで悩まないこと。それが解決の近道です。

もしあなたが、学生生活を送るうえで、誰かの言動を「ハラスメントだ」と感じたら、その気持を言葉と態度ではっきり伝えてください。そして「ノー」と言えなくても、決してひとりで悩みを抱え込まないでください。金沢高専には専属のカウンセラーがいます。あなたの悩みを親身に聞き、解決するための方法をいっしょに考えていきます。

#### あなたが安心して学べる環境をつくるために。

自分ひとりで相談するのは不安。そんな時は親しい友人といっしょに相談しても、第三者や代理人でも大丈夫です。相談員はあなたのプライバシーをしっかり守り、相談員以外への情報提供が必要な場合は、必ずあなたの承諾を得たうえでそれを行います。相談だけで解決しない場合は、必要な調停や措置をとり、安心して学べる環境を取り戻します。

※相談場所や相談日等の詳細については、P.105「心の相談室」を見てください。

(出典 「学生便覧 2009」 PP.95 ~ 96)

(資料 8 - 2 - - 3)

## 「金沢工業高等専門学校キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程」

## 金 沢 工 業 高 等 専 門 学 校 キ ャ ン パ ス ・ ハ ラ ス メ ン ト の 防 止 等 に 関 す る 規 程

(目的)

第 1 条 この規程は、性差別の防止に関する指針に則り、金沢工業高等専門学校(以下「本校」という。)における教職員のセクシュアル・ハラスメントに対する認識を深め、その防止等を図るとともに、教育の場としての本校に相応しいコミュニケーションができる快適なキャンパス・ライフづくりを目指し、学生の能力が十分に発揮できる環境を整えることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この規程において、「キャンパス・ハラスメント」とは、次に掲げる行為をいう。  
(1) 教職員の立場や権力の濫用に起因することで、学生に就学上の利益又は不利益に影響を与えること。

(2) 言動、掲示等により不快な念を抱かせるような環境を作為すること。

(キャンパス・ハラスメント防止委員会)

第 3 条 本校にキャンパス・ハラスメントの苦情相談への対応並びに防止等を図るため、キャンパス・ハラスメント防止委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の任務)

第 4 条 委員会の任務は、次の各号に掲げる事項とする。

(1) 校長から付託されたキャンパス・ハラスメントに関する事項の調査及び検討

(2) キャンパス・ハラスメントの防止に関する啓発

(3) キャンパス・ハラスメントに関する相談員等からの報告の事実調査

(4) キャンパス・ハラスメントの再発防止にかかる改善策の立案及び実施の検討

(5) その他キャンパス・ハラスメントに関する重要な事項の検討

(委員会の構成)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) 教務主事

(2) 学生主事

(3) 進路指導主事

(4) 研究主事

(5) 事務局長

(6) その他校長が必要と認める教職員

(委員会の運営)

第 6 条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

3 委員長に支障があるときは、予め委員長が指名した者が議長の職務を代行する。

4 委員長は、委員会の結果を取りまとめて、速やかに校長に報告しなければならない。

5 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(相談員)

第 7 条 本校にキャンパス・ハラスメントに関する苦情の申出及び相談に対応する相談員及びカウンセラーを置く。

2 相談員の数は 5 名程度とし、委員会の推薦により、校長が指名する。

3 相談員の半数程度は女性とする。

4 相談員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

5 委員と相談員は、兼務することができる。

(相談員及びカウンセラーの任務)

第 8 条 相談員及びカウンセラーの任務は、次に掲げる事項とする。

(1) 苦情相談に関して指導及び助言をすること。

(2) 苦情相談の内容について委員会に報告すること。

(守秘義務)

第 9 条 この規程に関わる委員、相談員等は、職務遂行に当たって、当事者及び関係者の名誉並びにプライバシー等の人権を侵害しないよう配慮しなければならない。

2 キャンパス・ハラスメントに関する業務に従事した者は、その職務上知り得た情報を他に漏らしてはならない。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

(出典 「金沢工業高等専門学校関係規則集」P.76)

(資料 8 - 2 - - 4 )

「親業講座資料及び講義の一こま」

**親業** 聞き方・話し方で変わる親子の人間関係

☆親の愛や本音が伝わる「話し方」

コミュニケーションの壁は、親自らが作っている!?

その一言が原因? 子供のためにと話しているのに、なぜ?

①イライラ・ガミガミ。。。 怒りが伝わる話し方  
②親の本音や愛が伝わる話し方

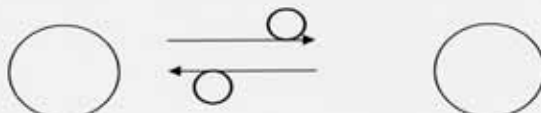
☆やる気や自立を支援する「聞き方」

問題解決へと導く、コミュニケーション手法

①問題やトラブルが起こったとき、「それは誰の問題なのか」を見極める。  
②問題を抱えた本人が解決するよう導く。

子どもが悩んだり、困ったり、なんらかの否定的感情を抱いている時  
親の思いや考えを話す前に、子どもの話しを聞いているでしょうか?

～コミュニケーションの基本～♪



心と心のキャッチボール



( 1 ) 導入講演



( 2 ) 聞き方訓練状況











(資料 8 - 2 - - 5 )  
「教師学講座資料」

「学校なんか嫌いだ！

行きたくない！！」

～子どもの心を開く “能動的な聞き方” を学ぶ～

《親が投げかけがちなセリフの12のパターン》

<p>①命令</p> <p>文句ばかり 言わないで 行きなさい！</p> 	<p>②脅迫</p> <p>行かないとお父さんに 言いつけるよ！ 学校に行った方が お前のためなのよ！</p> 	<p>③説教</p> <p>学校へは 行くべきよ！ なぜなら…</p> 
<p>④提案</p> <p>担当の先生に 相談してみたら いいのに…。</p> 	<p>⑤講義</p> <p>学校をイヤだと思っ たらイヤになるのよ。 イヤだと思わなけれ ばいいのよ！</p> 	<p>⑥非難</p> <p>ちょっとイヤなことが あると、すぐ 弱音をはいて…！ イヤだねえ…。</p> 
<p>⑦同意</p> <p>じゃあ、 行かなくても いいよ。</p> 	<p>⑧辱める</p> <p>おまえは、 相変わらず 甘ったれネ！</p> 	<p>⑨解釈</p> <p>学校がイヤだから そんな風に 考えるんじゃ ないのかしら？</p> 
<p>⑩同情</p> <p>さあ！ 頑張って ごらんなさい</p> 	<p>⑪尋問</p> <p>何か嫌なことが あったの？！ いじめられてるの？ どうして??</p> 	<p>⑫ごまかし</p> <p>まあ、 明日になれば また気が変わる わよ♪</p> 

★親業では、これを「お決まりの12の型」と呼び、  
子どもが心を開かず対応としています。それはなぜでしょうか？

イラスト bu・ゆうき☆

(資料 8 - 2 - - 6)

「カウンセリングの取扱い要項」

### 心の相談 (カウンセリングセンター)

本校では、みなさんが有意義な学生生活を送れるようカウンセリングセンターを設け、学生生活をサポートしています。みなさんが日常生活を送るうえで、いろいろな悩み、不安、苦悶を抱えたときには、専門のカウンセラーの良助が頼りにしてください。相談内容は、自分一人でもよくよく、気軽に相談してください。相談内容は、詳しく保護者が守られています。

場所は、27号館2階で行って大丈夫です。予約もすれば本館2031・109室(図書1階)から予約も受け付けています。

**■カウンセリング予約受付時間**  
月曜日～金曜日 12:00～17:00  
休日を予約受付です。

**■カウンセリングを受けられる時間**  
月曜日～金曜日 13:00～19:00  
土曜日 9:00～13:00  
本校ではお休みします。  
本校以外大学のカウンセリングが受けたい場合は、必ず事前に本校のカウンセラーに相談してください。本校が受け付けていない場合は、本校が受け付けません。

**学生相談**  
カウンセリングを受けるための手順

1. カウンセリングセンター(27号館)受付で希望の時間に予約する。
2. 予約カードを受け取る。
3. 予約の時間にカウンセラーを訪ねる。(予約を待たない場合は、事前に連絡する)
4. カウンセリングを受ける。(予約した日のカウンセラーの担当の手続きを済ませる)
5. 予約の時間に再びカウンセラーを訪ねる。



(出典 「学生便覧 2009」 P.94)

(資料 8 - 2 - - 7)

「キャンパス内での診療」

**扇が丘診療所**

22号館1階



初めての独り暮らしで体調を崩したり、風邪をひいたり、おなかの調子が悪いときなど、学内で気軽に診療が受けられる。もちろん薬も提供している。

また、症状により他の病院へ紹介もしている。とにかく体の調子が悪くしなかつたら、我慢せずに気軽に相談して欲しい。

**診療を受ける時に必要なもの**

- 学生証
- 健康保険被保険者証(遠隔地被保険者証)

**診療科**  
内科

**診療時間**

曜日	午前・午後	時間	診療科
月曜日	午前	9:00～11:30	循環器内科
	午後	13:30～16:00	内分泌内科
火曜日	午前	9:00～11:30	循環器内科
	午後	13:30～16:00	内分泌内科
水曜日	午前	9:00～11:30	循環器内科
	午後	13:30～16:00	内分泌内科
木曜日	午前	8:30～11:00	循環器内科
金曜日	午前	8:30～11:30	放射線科・循環器内科
土曜日	午前	9:00～11:30	循環器内科

気軽に利用できる  
 キャンパス内の、  
 本格的な診療所。

(出典 : 「学生便覧2009」 P.139)

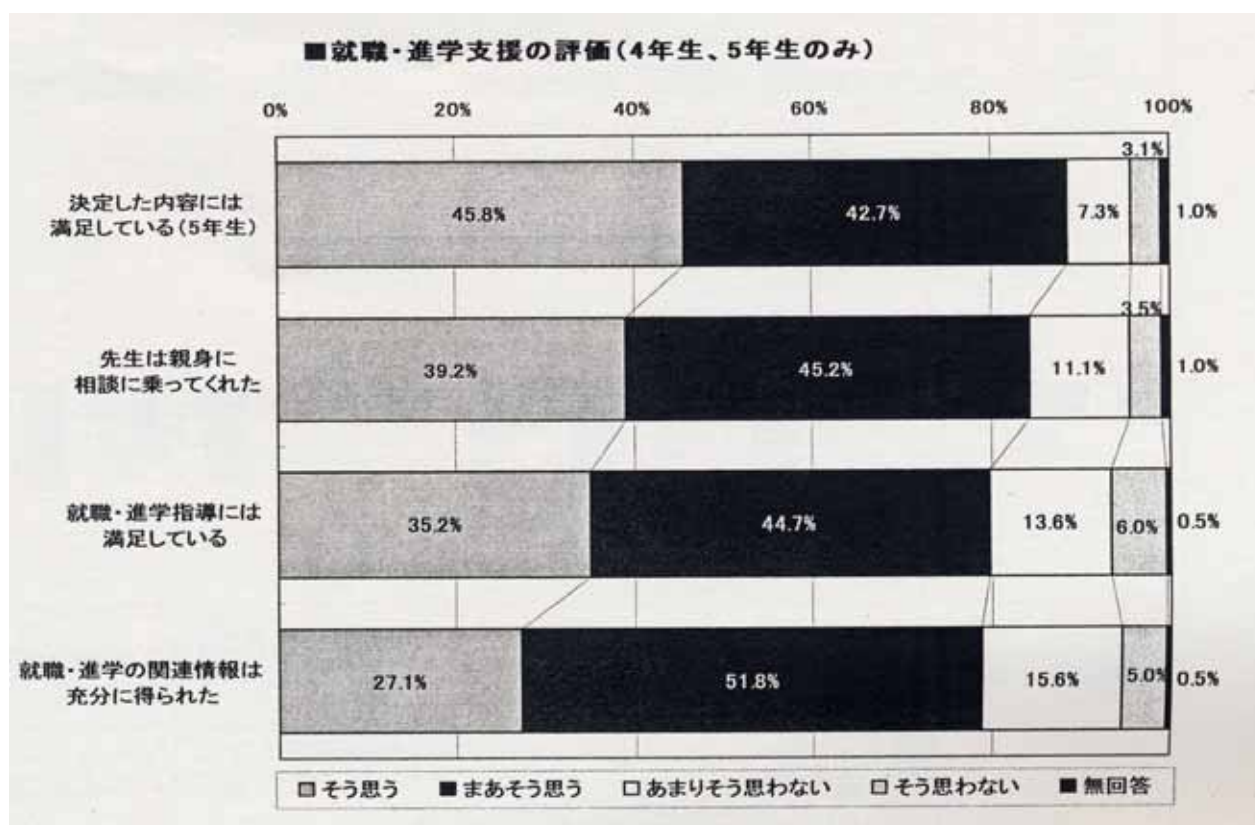
(資料 8 - 2 - - 8 )

「保護者等への進路指導状況」

日時	出席保護者数(名)	4年生学生数に対する出席保護者の割合%	備考
平成17年9月3日(土)	104	84.6	
平成18年9月2日(土)	109	87.2	
平成19年9月1日(土)	73	58.4	19年度より個別面談を別に設ける
平成20年9月6日(土)	65	61.3	
平成21年9月5日(土)	87	77.0	
平成22年9月4日(土)			

(資料 8 - 2 - - 9 )

「KTC総合アンケート調査結果、平成21年度」



(出典:「KTC総合アンケート調査結果」、2009年度報告書 P.46)